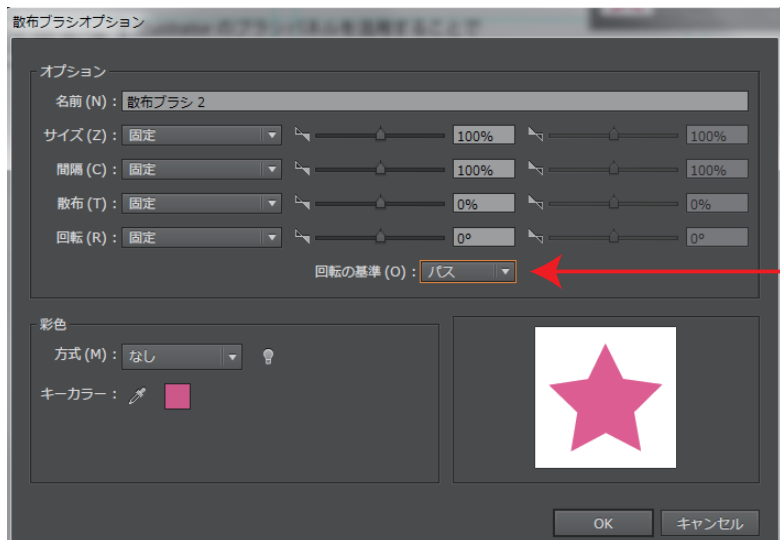


Illustrator で絵型を描く。

ブラシの活用方法

illustrator のブラシパネルを活用することで
様々なパーツを簡単且つ正確に描くことが可能になる。

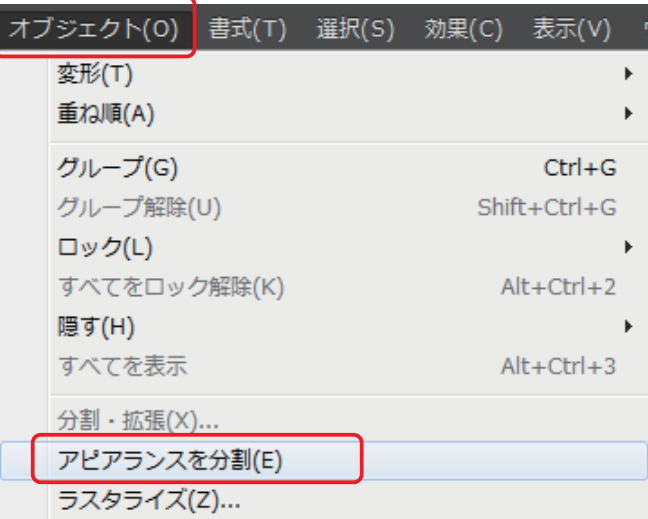
散布ブラシに動きをつけるには



回転の基準をパスに変更するとパスの動きに合わせ
オブジェクトの向きが変更される。

但し！単一のブラシを複数使用した場合一つのブラシを変更すると
同じブラシ全ての動きが変更されてしまうので
一つのブラシのみ動きを付けたい場合は他のブラシ全てを
オブジェクトメニューからアピアランスの分割を選び
ブラシからパスに変更する必要がある。

重要！！



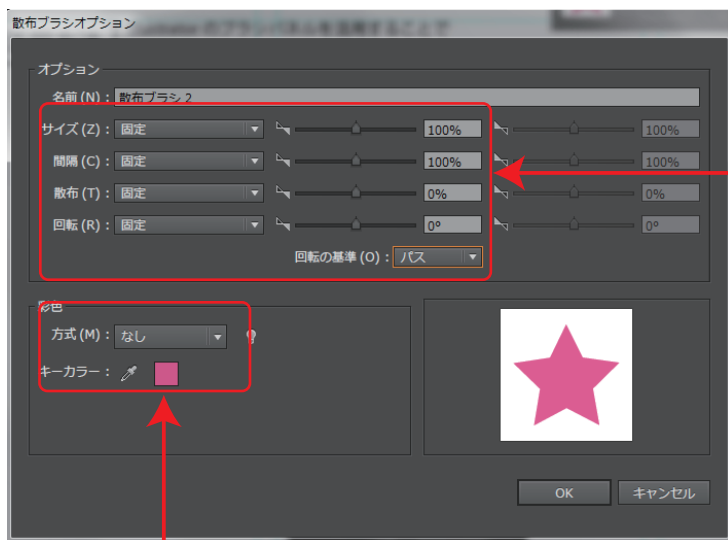
回転の基準がページだと
全て同じ方向を向く。



回転の基準がパスだと
パスの動きに合わせ向きが変わる。



同じブラシを複数使用する場合
どれか一つを変更すると
全てのブラシに適用される。
その場合はオブジェクトメニューから
アピアランスの分割を選び
ブラシからパスに変換しておく。



回転の基準と同様に、サイズ、間隔、散布、回転彩色等の
設定項目も同じブラシを使っている以上一つのブラシを
変更すると全てのブラシが同様に変更されるので同じブラシを
使用して、大きいブラシや小さいブラシ、
間隔の広いブラシ狭いブラシを作成する場合は
アピアランスを分割しておく。



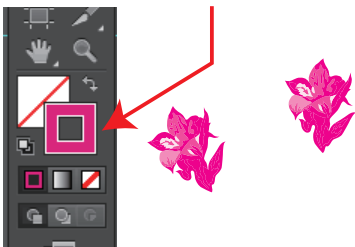
アピアランスを分割することにより
一つのブラシから多彩な変化をつける事が可能になる。

彩色方式の比較

(なし) の場合
作成した色のブラシになる。



(彩淡) の場合
ツールの線色の濃淡ブラシになる。



(彩淡と低明度) の場合
ツールの線色の濃淡ブラシになるが
比較的暗めのカラーとなる。



(色相のシフト) の場合
使用色全てが同時に
色相を循環する。

